



平成 21 年 1 月 7 日

各 位

会 社 名 曙ブレーキ工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 信元 久隆
(コード番号 7238 東証第一部)
問合せ先 代表取締役副社長・CFO 荻野 好正
(TEL 048-560-1501)

平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損に関するお知らせ

当社が保有する「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が簿価に比べ著しく下落し、その回復が困難であると認められるものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期において減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額

(連結)

(A) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額	1,902 百万円	
(B) 平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A/B×100)	56,548 百万円	(3.4%)
(C) 平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A/C×100)	12,619 百万円	(15.1%)
(D) 平成 20 年 3 月期の当期純利益額 (A/D×100)	6,637 百万円	(28.7%)

(個別)

(A) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額	1,902 百万円	
(B) 平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A/B×100)	39,418 百万円	(4.8%)
(C) 平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A/C×100)	6,929 百万円	(27.5%)
(D) 平成 20 年 3 月期の当期純利益額 (A/D×100)	5,498 百万円	(34.6%)

(注) 1) 当社の第 3 四半期末は、12 月 31 日であります。

2) 四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理にあたっては、四半期洗替え法を採用しているため、平成 21 年 3 月期末においては、投資有価証券評価損の計上額が変動する場合があります。

2. 今後の見通し

投資有価証券評価損に加え、昨今のカーメーカーの大幅な減産に伴う当社グループの受注大幅減少は避けられず、平成 21 年 3 月期の通期業績予想については、平成 20 年 9 月 26 日に修正公表した業績予想より悪化することが懸念されます。数値については現在精査中であり、業績見通しが明らかになり次第、改めてお知らせいたします。

以 上